



R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長: 納所 佳民 幹 事: 指山 立
事務所: 佐世保市島瀬町10-12 十八親和銀行 佐世保本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
例会場: レオプラザホテル佐世保 (毎週水曜日) TEL 0956-22-4141
http://www.sasebo-rc.jp/ E-mail: src@circus.ocn.ne.jp

令和 8 年 8 月 26 日

第 3,632 回例会

NO 8

《本日》会員数 81 名(出席規定免除 19 名)・出席 52 名・欠席 29 名・(内免除者欠席 10 名)・ビジター 0 名・ゲスト 1 名・出席率 64.20 %
《8月 5日》会員数 81 名(出席規定免除 19 名)・出席 53 名・欠席 28 名・(内免除者欠席 11 名)・メイクアップ 1 名・修正出席率 77.14 %

会 長 挨 拶

会長 納所 佳民

皆さん、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。

今日は、先日私が大変感動した出来事についてお話ししたいと思います。



8月22日(土)、長崎スタジアムシティのハピネスアリーナで開催された「トップガン マーヴェリック シネマコンサート」を鑑賞してまいりました。

この企画はイギリス・アメリカ・ドイツなど全世界で、約10都市で開催されました。

日本では東京・大阪と九州では唯一、長崎だけで開催されました。

第1作の映画『トップガン』公開から、今年はちょうど40年という節目の年を迎えます。

シネマコンサートとは、大スクリーンで映画『トップガン マーヴェリック』を上映し、その映像に合わせて劇中音楽をオーケストラが生演奏するという企画で、九州では初の開催だったそうです。私もシネマコンサートの鑑賞は今回が初めての経験でした。

指揮は和田一樹氏、演奏は「WOWOW シネマオーケストラ with 長崎OMURA室内合奏団」の皆さんが務められました。映画の迫力ある映像と、目の前で奏でられる重厚な生演奏が一体となり、まるで自分自身も

戦闘機に乗って大空を飛んでいるかのような圧倒的な臨場感を覚えました。

上映が終わると、会場はオーケストラの皆さんへの万雷の拍手に包まれました。観客の感動と感謝の思いが一斉にあふれ出た素晴らしい瞬間に立ち会い、私も心から胸を打たれました。

映画の歴史を振り返りますと、チャップリンが活躍したサイレント映画の時代には映像に音声が入っておらず、映画館で楽士が映像に合わせて生演奏を行っていました。その後、セリフや効果音、音楽が加わり、映画は大きな進化を遂げてきました。今回のシネマコンサートは、最新の映画を生演奏とともに鑑賞することで、映画の原点と現代の技術が見事に融合したようにも感じられました。

実は私の趣味の一つが映画鑑賞です。先日はマイケル・ジャクソンの生涯を描いた映画『Michael/マイケル』を鑑賞しましたし、去年は長崎から物語が始まる映画『国宝』が大きな話題となりました。

映画は私たちの心を豊かにしてくれます。物語の世界に入り込み、登場人物の喜びや悲しみを自分のことのように感じることで、時には自分が主人公になったかのような感覚さえ覚えます。

現在ではスマートフォンやタブレットでも手軽に映画を楽しめる時代になりましたが、私はやはり映画館で観る映画が好きです。あの臨場感は、小さな画面では味わうことができません。大スクリーン、体に響

く音響、そして同じ空間で笑い、涙を流し、感動を共有する観客の存在——その場でしか味わえない「本物の体験」こそが、人の心を深く動かすのだと思います。

そして、心が動かされるということは、他者の喜びや悲しみに思いを寄せることでもあります。それは人間関係に限らず、私たちの身近にいる犬や猫などの動物に対しても同じではないでしょうか。

ペットは飼い主にとって我が子のように愛らしく、かけがえのない家族です。しかし残念ながら、人間の都合や一時の感情によって、虐待を受けたり捨てられたりする動物がいるのも悲しい現実です。

一度迎え入れた命には最後まで責任を持つこと。そして言葉を話せない動物の気持ちにも心を寄せること。その優しさと思いやりの心を、私たちは決して忘れてはならないと思います。映画を通して心を動かされるだけでなく、その感動を人や動物を思いやる日々の行動へとつなげていくことが大切です。

これはロータリーの奉仕の精神にも通じるものがあります。相手の立場に立ち、その喜びや悲しみを自分のこととして捉えるところから、真の奉仕が始まるのではないのでしょうか。これからも映画を通じて感性を磨き、心を豊かに保ちながら、周囲の人々やすべての命に優しい人間でありたいと思います。

さて、本日の卓話には、犬猫保護活動家・作家・イラストレーターとしてご尽力されているtamtam(タムタム)様をお迎えしております。

tamtam(タムタム)様は、佐世保市動物愛護センターの保護動物を題材にしたコミックエッセーを描かれています。保護された犬や猫を一時的に預かり、里親を探す活動を行いながら、ご自身の体験をもとに「大切な命との向き合い方」や「動物との正しい接し方」を多くの方に知ってほしいという思いで発信を続けられています。

卓話のタイトルは「動物愛護と現代社会

の繋がりについて」というお題です。

本日の卓話をぜひ楽しみにしております。
本日もどうぞよろしくお願いいたします。

例会記録

- ロータリーソング「我等の生業」
- ゲスト tamtam(タムタム)様

幹事報告

幹事 指山 立

1.ロータリーの友 編集部 熊谷健太郎 さん

卓話で活用『ロータリーの友』—パワーポイント／ビデオメッセージ素材—

2026-27年度版『ロータリーの友』卓話用素材

<https://drive.google.com/drive/folders/1RpnENELoVzuYP7WgcoWbfvezrbNEWYhd?usp=sharing>

2.国際ロータリー第2740地区

2026-27年度ガバナー 中島健太郎 さん
地区幹事 米濱 誠二 さん

公式訪問について (お知らせ)

日時／9月16日(水)

11:30～会長・幹事・会長エレクト
との懇談会

地区出席者：中島ガバナー・ガバ
ナー補佐・地区幹事

12:00～新会員との懇談会

12:30～例会

訪問者：

ガバナー 中島健太郎 さん
長崎東RC／金融保険業

ガバナー補佐 朝永 春郎 さん
松浦RC

地区幹事 米濱 誠二 さん
長崎東／不動産

3.国際ロータリー第2740地区

2026-27年度ガバナー 中島健太郎 さん
地区幹事 米濱 誠二 さん

地区編集長 **原田 幸二 さん**
「ガバナー公式訪問」のクラブ報告について（お願い）
原稿内容／「ガバナー公式訪問」のクラブ
報告

原稿の字数／350文字前後
原稿締切／公式訪問後、14日以内
送付・問合せ先／2026-27年度ガバナー事務
務所

4. 国際ロータリー第2740地区

2026-27年度ガバナー **中島健太郎 さん**
令和8年 熊本地震に伴う井戸掘削・ボー
リング支援協力者の情報提供のお願い
平素より地区活動にご理解とご協力を賜
り、厚く御礼申し上げます。

このたび、令和8年熊本地震により被災し
た地域への復旧支援について、第2720地区
延岡研一ガバナーより情報提供の依頼があ
りました。

つきましては、地区内のロータリアンな
らびに関係者の皆様の中で、井戸掘削・ボー
リングに関するノウハウを有し、被災地へ
の支援・協力が可能な方、またはそのよう
な事業者をご紹介いただける方がいらっ
しゃいましたら、別紙の申込書に必要事項
をご記入のうえ、9月11日(金)までにガバナー
事務所までご連絡くださいますようお願い
申し上げます。

5. 国際ロータリー第2740地区

2026-27年度ガバナー **中島健太郎 さん**
R財団委員長 **吉岡 義治 さん**
ロータリー財団セミナーのご案内

日時／9月27日(日)

13:00 受付

13:30 開会

17:00 閉会

会場／東彼杵総合会館 大会議室

(長崎県東彼杵郡彼杵町彼杵宿郷

TEL0957-46-0114)

出席対象者／各クラブ2名

登録用紙にて9月15日(火)迄にガバナー事務

所宛にメール又はFAXにてお知らせ願
います。

当日のタイムスケジュールは追ってご案
内いたします。

6. 佐世保東ロータリークラブ

幹事 **坂口尉知朗 さん**

例会変更のご連絡

委員会報告

■ローターアクト委員会

副委員長 **稲吉 修**

8月は学生さんたちの都合
もあり例会開催を見送りました
が、9月の例会は、佐世保
米軍基地のフォンテイン司令
官の送別を兼ねた懇親の場と
合同で行うことになりました。



日時は9月15日(火)18:30から。場所はワシ
ントンホテルで予定しております。因みに
会費は7,000円となっております。

今回は通常の例会とは少し趣向が違いま
すが、メイクアップとしてご参加いただ
くことも可能ですので、ご都合がつくよう
でしたら、無理のない範囲で是非ご参加く
ださい。

■公共イメージ向上セミナー報告

副幹事 **境 竜馬**

8月23日(日)の10:00から2時
間、公共イメージ向上セミ
ナーをWEBで受講いたしまし
て、ロータリーの活動を地域
や社会にどのように伝えてい
くかについて学びました。



まず、公共イメージ、広報、パブリシティ
の違いについて説明がありました。広報は
ロータリーから外部への情報発信、パブリ
シティはその発信に対する外部からの反応、
そして公共イメージは、外部の人々がロー
タリーをどのように見ているかということ
です。つまり、私たちが発信するだけでなく、

「ロータリーがどう受け取られているか」が重要だということです。

また、世間ではロータリーについて「社長さんたちの集まり」「奉仕団体」など、さまざまなイメージがありますが、実はロータリーをよく知らない人も多く、そこには新しい良いイメージをつくるチャンスがあるという話が印象に残りました。

その中で、今年度特に重要なキーワードとして紹介されたのが、『ストーリーテリング』です。単に「何月何日に清掃活動をしました」「これだけ寄付しました」と結果だけを伝えるのではなく、なぜその活動を始めたのか、活動を通してどんな出来事があったのか、そして相手にどんな変化や笑顔が生まれたのかを、物語として伝えることが大切だということです。

例えば、奉仕活動で出会った人からの「ありがとう」という一言や、活動を通して生まれた交流など、実際の体験を伝えることで、聞く人の共感を生み、「自分もロータリー活動に参加してみたい」という気持ちにつながることができます。

今回のセミナーを通して、公共イメージ向上は広報担当者だけの仕事ではなく、ロータリアン一人ひとりがロータリーの魅力を伝える役割を担っているのだと感じました。

ニコニコボックス

親睦活動委員会 守田 伸英

納所 佳民 会長、指山 立 幹事
境 竜馬 副幹事、筒井 和彦 さん
安達 幸太 さん、本岡 眞 さん
大久保利博 さん、山口 健二 さん
中島 顕 さん、内海 暢邦 さん
山縣 千穂 さん、稲吉 修 さん
福田登志也 さん、福田 金治 さん
大神 吉史 さん、福田 金吾 さん
坂元 崇 さん、大神 邦明 さん
安部 雅隆 さん、鮫嶋 征彦 さん
山下 忠則 さん

犬猫保護活動家 tamtam (タムタム) 様の

卓話に期待します。

松尾 貴 さん

8月の誕生記念月のお祝いをいただき、ありがとうございます。

◇		
ニコニコボックス	前回累計	305,000円
	本日合計	22,000円
	累 計	327,000円

卓 話

「動物愛護と現代社会の繋がりについて」

犬猫保護活動家 tamtam (タムタム) 様

本日は、このような機会をいただきありがとうございます。私は以前、大阪の動物保護施設で働き、現在は長崎で、飼い主のいない犬や猫を一時的に預かり、新しい家族へつなげる活動をしています。その経験をもとに、保護犬や保護猫との日常を漫画やイラストで発信し、『たまさんちのホゴイヌ』『たまさんちのホゴネコ』として累計4冊の本にさせていただきました。



私が作品で大切にしているのは、動物愛護や保護活動を、あえて“ゆるく”伝えることです。こうしたテーマはどうしても重く受け取られがちですが、私たちの日常のすぐそばにあるものです。保護は、「護(まも)り保(たも)つ」と書くようにその場のレスキューで終わりではありません。多くの方にこの活動に日常的に関わってもらうことで、その子がその後も人の手や地域の支えの中で生きていけるよう、特別な出来事ではなく日常の中にある出来事として表現しています。

一方で、動物の問題は人間の社会福祉や教育と深い関わりがあります。多頭飼育崩壊や高齢者の飼育放棄の現場では、必ずその背景に人の孤立、病気、障がい、経済的

な困窮などの福祉課題があります。たとえば、猫が増えすぎてしまった家から動物を保護しても、飼い主の暮らしや心の支援がなければ、同じことが繰り返されてしまいます。だからこそ、人の福祉と動物の福祉は切り離して考えることができません。

近年は「One Welfare」という考え方も広がっています。「人の幸せ、動物の幸せ、環境の健やかさは互いにつながっている」、という視点です。地域の中で困っている人や動物に早く気づき、行政、福祉職、動物愛護団体、そして市民が連携できれば、人も動物も取り残されない社会に近づけるはずです。

この「One Welfare」を社会に根付かせるために、私がいま一番力を入れているのが、子どもたちへの教育です。幼い頃に、言葉の通じない弱い存在に心を寄せる経験は、他者への共感や優しさを育てるというデータがあります。本をきっかけに子どもたちが「面白い」「かわいい」と感じ、家庭で保護犬や保護猫の話をしてくれる。そんな小さな会話から、大人の意識も少しずつ変わっていくと未来を目指しています。

動物にも私たちにも、目には見えない物語があります。その物語を想像し、大切に作る心を、子どもたちに伝えていきたいと思っています。

最後に、私が衝撃を受けた言葉を紹介します。

『例えば助けを求めている猫が100頭いたとしても、1人の人間が全てを救うことは難しいかもしれないけど、100人の人が目の前の1匹を救うことができれば助かる命はもっと増えると思うんです』

活動への関わり方は実に様々です。少しのお手伝いや、使わない毛布・タオルの寄付、少額の募金など、小さなことから始められる関わり方も増えています。

今日のお話が、皆さまにとって、身近な命や地域のつながりに少し目を向けるきっかけになれば嬉しく思います。本日はご清聴いただき、本当にありがとうございます。



* 今後の例会予定 *

- 9月 9日 朝永春郎ガバナー補佐訪問例会
(クラブ協議会)
16日 中島健太郎ガバナー公式訪問例会
23日 祝日休会 (秋分の日)
30日 観月例会 (夜例会)

* 西海学園高等学校インターアクトクラブ例会予定 *

未定

* 長崎国際大学ローターアクトクラブ例会予定 *

日時／9月15日(火) 18:30
会場／佐世保ワシントンホテル

- * 西海学園IAC、長崎国際大学RACにご出席されますと、
メイクアップにもなりますのでご活用ください。
* RACへご出席される方はお食事の要・不要の確認をいたしますので、事務局までお知らせください。

(今週の担当：今吉 俊博 カメラ担当：川口 直人)

クラブ会報委員会

委員長：安達 幸太
副委員長：今吉 俊博

委員：安福 竜介・川口 直人
藤井 鉄平・林 健児